

# 安全データシート (SDS)

## 1 製品及び会社情報

製品名 : ニップファインウレタンU100 7分艶濃彩 (青緑系)  
 会社 : 株式会社中島商会  
 住所 : 〒 700-0904 岡山県岡山市北区柳町2丁目2-23  
 電話番号 : 086 (232) 2711  
 作成日 : 2022 (令和4) 年6月21日

## 2 危険有害性の要約

### GHS 分類

エアゾール	: 区分 1
引火性液体	: 区分 3
急性毒性 経口	: 分類できない
急性毒性 経皮	: 分類できない
急性毒性 吸入 (気体)	: 分類できない
急性毒性 吸入 (蒸気)	: 区分 4
急性毒性 吸入 (粉じん及びミスト)	: 分類できない
皮膚腐食性及び刺激性	: 区分 2
眼損傷・刺激性	: 区分 1
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 区分 2
発がん性	: 区分 1
生殖毒性	: 区分 1
授乳に対する又は授乳を介した影響	: 分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 区分 2 中枢神経系、呼吸器系、肝臓、腎臓 : 区分 3 麻酔作用
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 区分 2 神経系、中枢神経系、呼吸器系、 <肺吸入>、肝臓、精巣
誤えん有害性	: 区分 1
水生環境有害性 (急性)	: 区分 2
水生環境有害性 (慢性)	: 区分 2
オゾン層への有害性	: 分類できない

### GHS ラベル要素

#### 絵表示



#### 注意喚起語 危険有害性情報

危険  
 極めて可燃性の高いエアゾール  
 高压容器 : 熱すると破裂のおそれ

引火性液体及び蒸気  
吸入すると有害  
皮膚刺激  
重篤な眼の損傷  
遺伝性疾患のおそれの疑い  
発がんのおそれ  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
臓器（中枢神経系、呼吸器系、肝臓、腎臓）の障害のおそれ  
眠気又はめまいのおそれ  
長期にわたる、または、反復暴露による臓器〈神経系、中枢神経系、呼吸器系、（肺吸入）、肝臓、精巣〉の障害のおそれ  
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ  
長期継続的影響によって水生生物に毒性

## 注意書き

### 安全対策

使用前に全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
熱／火花／裸火／高温のもの及び他の着火源から遠ざけること。－禁煙。  
裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。  
容器を密閉しておくこと。  
防爆型の電気機器／換気装置／照明機器／を使用すること。  
火花を発生させない工具を使用すること。  
静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。  
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。  
取扱い後は手をよく洗うこと。  
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
環境への放出を避けること。  
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

### 応急措置

火災の場合には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を使用すること。  
眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
直ちに、医師の診断／手当てを受けること。  
衣類にかかった場合は、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。  
再使用する場合には洗濯すること。  
皮膚（又は髪）については、多量の水と石鹼で洗うこと。  
皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けること。  
吸入し呼吸が困難な場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断／手当てを受けること。  
無理に吐かせないこと。  
漏出物を回収すること。

- 保管** 子供の手の届かない所に施錠して保管すること。  
涼しく換気の良い場所で保管すること。  
直射日光の当たる所や温度が40℃以上になる所、錆びの発生しやすい水回りや湿気の多い所、凍結する所には置かないこと。
- 廃棄** 中身を使い切ってから廃棄する。  
内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

### 3 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

危険有害成分

成分	CAS No.	含有量%	PRTR法No.	安衛法No.	備考
キシレン	1330-20-7	0.6	1-80	136	80(1-103)
1, 2, 4 トリメチルベンゼン	95-63-6	2.9	1-342	404	691(1-296)
1, 3, 5 トリメチルベンゼン	108-67-8	1.1	1-342	404	691(1-296)
ミネラルスピリット	8052-41-3	15~25	非該当	551	非該当
石油系炭化水素	-	1~5	非該当	551	非該当
酸化チタン	13463-67-7	1~5	非該当	191	非該当
銅フタロシアニン	147-14-8	0.1~3	非該当	379	非該当
低沸点芳香族ナフサ	64742-95-6	0.1~3	非該当	330	非該当
ノナン	111-84-2	0.1~3	非該当	432	791(2-081)
オキシ水酸化鉄	20344-49-4	0.1~3	非該当	192	非該当
1, 2, 3 トリメチルベンゼン	526-73-8	0.1~3	1-342	404	691(1-296)
エチルベンゼン	100-41-4	1.0未満	1-053	70	53(1-073)
二酸化ケイ素	-	1.0未満	非該当	165の2	非該当
二酸化硅素	7631-86-9	1.0未満	非該当	165の2	非該当
添加剤	-	1.0未満	非該当	379	非該当
M I B K	0108-10-1	1.0未満	1-472	569	737(1-472)
スチレン	100-42-5	1.0未満	1-240	323	240(1-275)
アクリル酸エチル	140-88-5	1.0未満	1-003	3	3(1-004)
クメン	98-82-8	1.0未満	1-083	138	83(1-106)
硫酸バリウム	7727-43-7	1~5	非該当	非該当	非該当
ポリイソシアネート変性体	-	1~5	非該当	非該当	非該当
γ-グリシドキシプロピルトリメトキシシラン	2530-83-8	1.0未満	非該当	非該当	693(1-344)
ジメチルエーテル	-651678	40~50	非該当	非該当	非該当(可燃ガス)

PRTR法No.：特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）

対象化学物質の政令番号

安衛法No.：労働安全衛生法（安衛法）第57条の2第1項政令指定物質の政令番号

（注）備考の情報は、2023年4月1日改正政令施行後のPRTR法の情報です。PRTR届出のための排出・移動量の把握は2023年4月からの開始であり、2022年度分までの届出は政令改正前の第一種指定化学物質に基づき行う必要があります。

### 4 応急措置

- 吸入した場合**：蒸気、ガスなどを吸い込んだ場合には、直ちに新鮮な空気のある場所へ移動させ、静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には、人工呼吸を行い、嘔吐物は飲み込ませないようにする。必要に応じて医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合**：汚染された衣服は、素早く脱ぐ。  
大量の水及び石鹼又は皮膚用洗剤を使用して十分に洗い落とすこと。  
外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、直ちに医師の診断を受けること。
- 目に入った場合**：直ちに大量の清浄な流水で、15分以上洗浄する。瞼の裏まで完全に洗うこと。  
コンタクトレンズを着用し、容易にとれる場合は、コンタクトレンズをはずし、更に洗浄を続ける。

できるだけ早く医師の診断を受けること。

- 飲み込んだ場合 : 揮発性液体なので、吐き出させるとかえって肺への吸引等の危険が増す。直ちに、医療措置を受ける手配をする。水でよく口の中を洗わせてもよい。但し、意識のない場合は、口から何も与えてはならない

## 5 火災時の措置

使用可能消火剤 : 炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

使ってはならない消火剤 : 水

消火方法 : 可燃性のあるものを周囲から速やかに取り除くこと。  
消火作業は、指定の消化剤を使用し、可能な限り風上から行なう。  
火災の現場にエアゾール製品があると爆発する恐れがあるので、消火活動には距離を十分にとること。  
水を消火に用いてはならない。  
高温にさらされる製品容器には水をかけて冷却する。

消火を行う者の保護 : 適切な保護具（耐熱着衣、有機ガス用防毒マスク、手袋等）を着用する。

## 6 漏洩時の措置

人体に対する注意事項 : 作業の際には適切な保護具（保護手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。  
付近の着火源・高温体及び付近の可燃物を素早く取り除き、換気をよくする。  
衝撃、静電気にて火花が発生しないような、材質の用具を用いて回収する。  
風上から作業し、風下の人を退避させる。  
着火した場合に備えて、消火用機材を準備する。  
付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をすること。

環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境へ流出しないように注意する。

除去方法 : 回収後の少量の残留分は、土砂（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。  
少量の場合、おがくず、ウエス、砂等を用いて吸着させて、密閉できる空容器に回収する。

## 7 取扱い及び保管上の注意

取り扱い : 温度が40℃以上の所や火気のある所では取扱わないこと。  
長時間噴射させないこと。  
周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。  
容器は衝撃や落下又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。  
容器は使用の都度キャップをかぶせること。

局所排気・全体排気 : 局所排気内、または全体換気のある場所で取扱い、蒸気が滞留しないようにする。

安全取り扱い注意事項 : 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。

適切な保管条件 : 直射日光の当たるところや温度が40℃以上になる所に保管しないこと。  
水分や湿気の多い所に保管すると容器を腐食させて爆発の恐れがあるので注意すること。通気の良い場所に保管すること。  
火気、熱源から遠ざけて保管すること。  
子供の手の届かない所に、施錠して保管すること。

## 8 暴露防止及び保護処置

設備対策 : 取扱設備は防爆型を使用する。  
排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。  
取扱場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とする。  
局所排気装置などにより作業者が暴露から避けられるような設備とする。  
タンク内部の密閉場所で作業する場合には密閉場所、特に底部まで十分に排気出来る装

置を取り付けること。

**保護具**

- 呼吸器の保護 : 防毒マスク(有機ガス用)を使用する。密閉された場所では、送気マスクを着用する。
- 目の保護 : 保護眼鏡を着用する。
- 皮膚の保護 : 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
- その他 : 導電性安全靴を着用する。

**許容濃度**

成分名	管理濃度	日本産業衛生学会	許容濃度 ACGIH(TLV,TWA)
キシレン	50 p p m	50 p p m	100 p p m
1, 2, 4トリメチルベンゼン	規定なし	25 p p m	25 p p m
1, 3, 5トリメチルベンゼン	規定なし	-	25 p p m
ミネラルスピリット	規定なし	-	100mg/m3
石油系炭化水素	-	-	-
酸化チタン	規定なし	-	10mg/m3
銅フタロシアニン	規定なし	-	-
低沸点芳香族ナフサ	規定なし	-	100 p p m
ノナン	-	-	200 p p m
オキシ水酸化鉄	2.9mg/m3	-	10 p p m
1, 2, 3トリメチルベンゼン	-	-	-
エチルベンゼン	20 p p m	20 p p m	50 p p m
二酸化ケイ素	-	-	10 p p m
二酸化硅素	-	-	10 p p m
添加剤	-	-	-
M I B K	20 p p m	50 p p m	20 p p m
スチレン	20 p p m	20 p p m	10 p p m
アクリル酸エチル	規定なし		5 p p m
クメン	規定なし	-	5 p p m
硫酸バリウム	規定なし	-	5mg/m3
ポリイソシアネート変性体	-	-	-
γ-グリシドキシプロピルトリメトキシシラン	規定なし	-	-
ジメチルエーテル	規定なし	-	-

**9 物理的及び化学的性質**

物理的状態

- 状態
  - 液体 : [  ] (エアゾール包装で容器内部は、液体状態)
  - 気体 : [  ] (解放時)
  - 固体 : 固体状 [     ]、粉末状 [     ]、ペースト状 [     ]
- 色
  - 主剤/硬化剤 無色/無色
- 臭い
  - 主剤/硬化剤 溶剤臭/溶剤臭
- pH
  - 主剤/硬化剤 該当しない/該当しない

沸点	主剤/硬化剤	130℃/126.1℃	ガス	-24	℃
沸点範囲融点	主剤/硬化剤	130~210℃/130~290℃	ガス	-	

融点	主剤/硬化剤	データなし/データなし	ガス	データなし	℃
引火点	主剤/硬化剤	37℃/40℃	ガス	-41	℃
発火点	主剤/硬化剤	190℃/200℃	ガス	350	℃
爆発限界		(下限) (上限)			
	主剤	0.6 ~ 7.0 vol%			
	硬化剤	0.6 ~ 6.0 vol%			
	ガス	3.4 ~ 27 vol%			
蒸気圧	主剤/硬化剤	1333Pa/1300Pa	ガス	507KPa	
蒸気密度	主剤/硬化剤	データなし/データなし	ガス	データなし	
密度(比重)		1.04/0.98	ガス	0.66	
溶解性		水に溶解しない	ガス	データなし	
オクタンル/水分係数		データなし	ガス	データなし	
分解温度		データなし	ガス	データなし	
その他のデータ	主剤/硬化剤	データなし/データなし	ガス	データなし	

## 10 安定性及び反応性

### 安定性

通常の条件では安定。

### 反応性

強酸化剤と接触すると激しく反応する。

### 危険有害な分解生成物

不完全燃焼により、CO・NOXなどが考えられる。

### その他の反応性情報

常用温度(20℃)では缶内圧は、約0.40MPaであるが、40℃以上になると爆発の恐れがある。

## 11 有害性情報

### 成分の健康有害性情報

物質名	急性毒性 (LD50、LC50等)				
	経口	経皮	吸入 (気体)	吸入 (蒸気)	吸入 (粉塵、ミスト)
キシレン	区分に該当しない	区分4 1,700 mg/kg	区分に該当しない	区分4 6350 ppm	分類できない
1, 2, 4トリメチルベンゼン	区分に該当しない	分類できない	区分に該当しない	分類できない	区分に該当しない
1, 3, 5トリメチルベンゼン	区分に該当しない	分類できない	区分に該当しない	分類できない	区分に該当しない
ミネラルスピリット	区分に該当しない	分類できない	区分に該当しない	分類できない	分類できない
石油系炭化水素	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
酸化チタン	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない
銅フタロシアニン	区分に該当しない	分類できない	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない	分類できない

低沸点芳香族ナフサ					
ノナン	分類できない	分類できない	区分に該当しない	区分 4	区分に該当しない
				3,200 ppm	
オキシ水酸化鉄	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
1, 2, 3 トリメチルベンゼン	分類できない	分類できない	区分に該当しない	分類できない	分類できない
エチルベンゼン	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分 4	分類できない
				4,000 ppm	
二酸化ケイ素	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
二酸化珪素	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
添加剤	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
M I B K	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分 3	分類できない
				1,968 ppm	
スチレン	区分に該当しない	分類できない	区分に該当しない	区分 4	分類できない
				2,700 ppm	
アクリル酸エチル	区分 4	区分 4	区分に該当しない	区分 3	分類できない
	461 mg/kg		1,790 mg/kg		
クメン	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分 3	区分に該当しない
				2,000 ppm	
硫酸バリウム	分類できない	分類できない	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
ポリイソシアネート変性体	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
γ-グリシドキシプロピルトリメトキシシラン	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない	区分に該当しない
ジメチルエーテル	分類できない	分類できない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない

物質名	皮膚腐食/刺激性	眼損傷/刺激	呼吸器感作性	皮膚感作性	生殖細胞変異原性
キシレン	区分 2	区分 2	分類できない	分類できない	分類できない
1, 2, 4 トリメチルベンゼン	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	区分に該当しない
1, 3, 5 トリメチルベンゼン	区分 2	区分 2 B	分類できない	分類できない	分類できない
ミネラルスピリット	区分 2	区分に該当しない	分類できない	区分に該当しない	区分に該当しない
石油系炭化水素	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
酸化チタン	区分に該当しない	分類できない	分類できない	区分に該当しない	分類できない
銅フタロシアニン	区分に該当しない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
低沸点芳香族ナフサ	区分 2	区分 2	分類できない	区分に該当しない	区分に該当しない
ノナン	区分 2	区分 2 B	分類できない	分類できない	分類できない
オキシ水酸化鉄	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない	分類できない	区分に該当しない
1, 2, 3 トリメチルベンゼン	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
エチルベンゼン	区分に該当しない	区分 2 B	分類できない	分類できない	区分に該当しない
二酸化ケイ素	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない

二酸化珪素	区分に該当しない	区分 2	分類できない	分類できない	分類できない
添加剤	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
M I B K	区分に該当しない	区分 2 B	分類できない	分類できない	分類できない
スチレン	区分 2	区分 2 A	分類できない	分類できない	区分 2
アクリル酸エチル	区分 2	区分 2 A	分類できない	区分 1 A	区分に該当しない
クメン	区分に該当しない	区分 2 B	分類できない	区分に該当しない	区分に該当しない
硫酸バリウム	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
ポリイソシアネート変性体	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
γ-グリシドキシプロピルトリメトキシシラン	区分に該当しない	区分 1	分類できない	区分に該当しない	区分 2
ジメチルエーテル	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない

物質名	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器 (単回)
キシレン	分類できない	区分 1 B	区分 1 (呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓) 区分 3 (麻酔作用)
1, 2, 4 トリメチルベンゼン	分類できない	分類できない	区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)
1, 3, 5 トリメチルベンゼン	分類できない	分類できない	区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)
ミネラルスピリット	分類できない	区分に該当しない	区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)
石油系炭化水素	分類できない	分類できない	分類できない
酸化チタン	分類できない	分類できない	分類できない
銅フタロシアニン	分類できない	分類できない	分類できない
低沸点芳香族ナフサ	分類できない	区分に該当しない	分類できない
ノナン	分類できない	分類できない	区分 2 (中枢神経系) 区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)
オキシ水酸化鉄	分類できない	分類できない	分類できない
1, 2, 3 トリメチルベンゼン	分類できない	分類できない	区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)
エチルベンゼン	区分 2	区分 1 B	区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)
二酸化ケイ素	分類できない	分類できない	分類できない
二酸化珪素	区分 1 A	分類できない	区分 3 (気道刺激性)
添加剤	分類できない	分類できない	分類できない
M I B K	区分 2	分類できない	区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)
スチレン	区分 1 B	区分 1 B	区分 1 (中枢神経系) 区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)
アクリル酸エチル	区分 2	分類できない	区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)
クメン	区分 2	分類できない	区分 1 (中枢神経系、肝臓、腎臓) 区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)
硫酸バリウム	分類できない	分類できない	分類できない
ポリイソシアネート変性体	分類できない	分類できない	分類できない
γ-グリシドキシプロピルトリメトキシシラン	分類できない	区分に該当しない	区分 3 (気道刺激性)
ジメチルエーテル	分類できない	分類できない	区分 3 (麻酔作用)

物質名	特定標的臓器（反復）	誤えん有害性
キシレン	区分1（呼吸器、神経系）	区分1
1, 2, 4トリメチルベンゼン	区分2（中枢神経系、肺）	区分1
1, 3, 5トリメチルベンゼン	区分1（中枢神経系、呼吸器）	区分1
ミネラルスピリット	区分2（肝臓、精巣）	区分1
石油系炭化水素	分類できない	分類できない
酸化チタン	区分1（呼吸器）	分類できない
銅フタロシアニン	分類できない	分類できない
低沸点芳香族ナフサ	分類できない	区分1
ノナン	分類できない	区分1
オキシ水酸化鉄	分類できない	分類できない
1, 2, 3トリメチルベンゼン	分類できない	分類できない
エチルベンゼン	区分2（聴覚器）	区分1
二酸化ケイ素	分類できない	分類できない
二酸化珪素	区分1（呼吸器、免疫系、腎臓）	分類できない
添加剤	分類できない	分類できない
MIBK	区分1（中枢神経系）	分類できない
スチレン	区分1（中枢神経系、末梢神経系、聴覚、視覚、呼吸器、肝臓）	区分1
アクリル酸エチル	区分1（神経系、呼吸器）	分類できない
クメン	分類できない	区分1
硫酸バリウム	区分1（呼吸器）	分類できない
ポリイソシアネート変性体	分類できない	分類できない
γ-グリシドキシプロピルトリメトキシシラン	分類できない	分類できない
ジメチルエーテル	分類できない	分類できない

## 12 環境影響情報

### 【成分の水性環境有害性情報】

物質名	水生環境有害性 短期(急性)	水生環境有害性 長期(慢性)	オゾン層への有害性
キシレン	区分2	区分2	分類できない
1, 2, 4トリメチルベンゼン	区分2	区分2	分類できない
1, 3, 5トリメチルベンゼン	区分2	区分2	分類できない
ミネラルスピリット	区分1	区分1	分類できない
石油系炭化水素	分類できない	分類できない	分類できない
酸化チタン	区分に該当しない	区分4	分類できない
銅フタロシアニン	分類できない	分類できない	分類できない
低沸点芳香族ナフサ	区分2	区分2	分類できない
ノナン	区分1	区分1	分類できない
オキシ水酸化鉄	区分に該当しない	分類できない	分類できない
1, 2, 3トリメチルベンゼン	分類できない	分類できない	分類できない
エチルベンゼン	区分1	区分2	分類できない
二酸化ケイ素	分類できない	分類できない	分類できない
二酸化珪素	分類できない	分類できない	分類できない
添加剤	分類できない	分類できない	分類できない
MIBK	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
スチレン	区分1	区分2	分類できない
アクリル酸エチル	区分2	区分2	分類できない
クメン	区分2	区分2	分類できない
硫酸バリウム	区分3	区分3	分類できない
ポリイソシアネート変性体	分類できない	分類できない	分類できない
γ-グリシドキシプロピルトリメトキシシラン	区分3	区分3	分類できない
ジメチルエーテル	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない

## 13 廃棄上の注意

### 残余廃棄物

中身を使い切ってから廃棄する。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝にそのまま流さないこと。

排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

## 汚染容器・包装

内容物や容器を廃棄する際は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄業者に業務委託して下さい。

### 14 輸送上の注意

共通	: 取扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。 運搬に際しては、容器を40℃以下に保ち、転倒、落下並びに損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
陸上輸送	: 消防法、労働安全衛生法、ほか法令の輸送について定めるところに従うこと。
海上輸送	: 船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送	: 航空法に定めるところに従う。
国内規制	: 国連番号 1950 指針番号 126 国連分類 クラス2.1(高圧ガス)

### 15 適用法令

高圧ガス保安法	: エアゾールの為、非該当
消防法	: 第4類 第二石油類 (非水溶性)
労働安全衛生法	: 危険物(引火性の物、可燃性ガス) 名称を表示すべき有害物質含有 通知対象物質含有 有機溶剤中毒予防規則(第二種有機溶剤含有)
毒物劇物取締法	: 混合物の為、非該当
化学物質排出把握管理促進法	: 第1種指定化学物質含有 ※3. 組成及び成分情報を参照
船舶安全法	: 危険物(高圧ガス)
航空法	: 危険物(高圧ガス)
海洋汚染防止法	: 海洋汚染物質
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令	

### 16 その他の情報(引用文献)

化学物質等安全データシート(MSDS)  
 GHSに基づく化学物質等の分類方法 JIS Z 7252  
 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS) JIS Z 7253  
 産業中毒便覧(医歯薬出版株式会社)  
 14705の化学薬品(化学工業日報社)  
 改訂第2版 労働安全衛生法 MSDS対象物質全データ(化学工業日報社)  
 改訂第2版 緊急時応急措置指針(日本規格協会)  
 危険物船舶運送及び貯蔵規則(海文堂)  
 GHS分類結果データベース(独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ)  
 GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック 改訂第2版(日本塗料工業会)  
 GHS対応版ラベル・MSDS作成マニュアル(日本オートケミカル工業会)  
 溶剤ポケットブック(オーム社)

記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、全ての情報を網羅したのではなく、情報の正確さ、完全性を保証するものではありませんので、新しい情報によって改訂されることがあります。

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う事業者提供されるものです。取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません